入場事前登録 併催事業登録 受付中！

東京ビッグサイトにて4展同時開催！

会期 2012 10/17（水）～19（金） 10:00～17:00（最終日は 10:00～16:30）

会場 東京ビッグサイト 東2・3ホール

入場無料 事前登録制

2012洗浄総合展

PAN-EXHIBITION FOR WASH AND CLEAN 2012

未来を広げる洗浄技術

主催：(公社)日本洗浄技能開発協会／日本産業洗浄協議会／日刊工業新聞社

事前登録はこちらから http://www.nikkan.co.jp/eve/senjyo 洗浄総合展 検索

出展企業・団体一覧

（記載されている情報は 9/26 現在です。※は共同出展企業・団体、☆の企業は屋外展示もいたします。）

アクア化学
アクトファイブ
旭化成ケミカルズ
旭硝子
アマノ機工
アルペマール日本
いけうち
インフィニティ
エー・エス・ケー
S&T出版
エスエヌディ
エスティシー
※バイオサークル社
NCC
エパーロイ商事
※共立合金製作所
※東海合金工業
エレポン化工機
エンバイロ・ビジョン
オープ・テック
OH プレシジョン コーポレーション ☆
小津産業
オルガノ
カイジョー
化研テック
片倉工業
カムテック
ガリュー
環境テクノス
関西オートメ機器
管製作所
キソー
北村製作所
共栄産業
クリンビー
※JFE商事エレクトロニクス
※新和産業
※扇谷
※河新
クレハトレーディング
ケムテック ☆
ケルヒャージャパン
サクラ精機
JNCフィルター
JFE商事エレクトロニクス
ジェット
篠原電機
シブヤマシナリー
シャープマニファクチャリングシステム
ジャパン・フィールド
潤滑通信社
ショウワ洗浄機
新栄重機
伸栄化学産業
住友スリーエム
スギノマシン
西華産業
全国ビルメンテナンス協会
製品評価技術基盤機構
化学物質管理センター
ソルベックス
※J.P.C
タイセイクリンケミカル
大日本スクリーン製造
大和化学工業
タカハラコーポレーション
タキエンジニアリング
田邊空気機械製作所
超音波工業会
テクノアート
テムスケミカル
DURASONIC
東京大学
東光技研工業
東芝キャリア
東製
東ソー
TOSEI
トータルサービス
トープラハンタ ☆
※範多機械
トーヨ
常盤商事
※未来超音波技術
日刊工業広告社
日刊工業新聞社 出版局
日刊工業新聞社/中小機構
日刊工業新聞社 電子版
日光ケミカルズ
日進機工
日伸精機
日本アレックス
日本液炭
日本産業洗浄協議会
日本洗浄技能開発協会
日本ソルベイ
日本フルードパワー工業会
ニルフィスクアドバンス ☆
ニレコ
ネスター
ハイソル
林ステンレス工業
BC TAECHANG INDUSTRIAL
平出精密
ファインマシーンカタオカ
ファルヒジャパン
Borer Chemie
※レイボルド
本多電子
マスロールシステムズ/増田製作所
三井・デュポン フロロケミカル
武蔵テクノケミカル
モパック
森合精機
ユニラムジャパン
理工出版社

併催事業

リオ+20 特別セミナー　10/17（水）11:00～12:00

会場 東3ホール内 ワークショップ会場B　定員 250名 参加無料

テーマ 『リオ+20 会合の結果と課題 —『グリーン経済』を巡って—』

国連の「リオ+20」会合は、多くの参加者を集めながら、不十分な成果に終わりました。主要な原因は「グリーン経済」を巡る先進国と途上国との間の違いを埋められなかったことにあります。本セミナーでは、対立の構造や克服の方向性を探ります。

環境文明21　共同代表（環境文明研究所長）　加藤 三郎 氏

ヒートポンプ活用セミナー　10/17（水）13:30～14:30

会場 会議棟 6F 606会議室　定員 120名 参加無料

テーマ 「洗浄工程ヒートポンプ化による蒸気削減の取り組み ～弊社富士事業所事例紹介～」

空気の力で洗浄工程のエネルギーロスを解消しませんか。
高効率循環加温ヒートポンプ「CAONSシリーズ」の紹介と同製品の活用による蒸気削減事例から、省エネルギー、省コスト、省CO_2への取り組みをご紹介させていただきます。

東芝キャリア㈱　国内事業本部 システム技術部 部長　政本 努 氏

第16回 JICC洗浄技術フォーラム 2012　10/18（木）10:00～17:00

テーマ 「一持続可能な洗浄技術の未来を目指して—」　定員 120名

主催 日本産業洗浄協議会 特別協力 日刊工業新聞社 会場 会議棟 6階 605会議室

聴講料 会員：6,000円、非会員：10,000円（資料代・消費税込）

特別講演プログラム

10:05～10:45 電解水による殺菌および脱脂洗浄について
オルガノ㈱　開発センター第3開発部　係長　澄田 康光 氏

10:45～11:25 スマートフォンに求められる洗浄技術のトレンド
荒川化学工業㈱　電子材料事業部　営業部付部長　前野 純一 氏

13:00～14:00 「21世紀の課題を化学の視点から語る ～環境・食糧・エネルギー～」
パデュー大学 特別教授（2010年 ノーベル化学賞受賞）　根岸 英一 氏
※詳しくは下記「4展同時開催記念講演」参照。会場はレセプションホールA

技術発表プログラム

14:30～15:05 中国の水資源環境と工業廃水
㈱旭リサーチセンター　主席研究員　長谷川 雅史 氏

15:05～15:40 地球環境対応パートレル® 新洗浄剤について
三井・デュポンフロロケミカル㈱　テクニカルセンター　主査　菊地 秀明 氏
研究員　伊藤 未希 氏

15:50～16:25 ケンテックPCSの新しい発展 —アルミ切粉のリサイクル—
㈱ケンテック　代表取締役社長　中矢 圭一 氏

16:25～17:00 デジタル制御による最適超音波洗浄
本多電子㈱　産業機器事業部　課長　渋谷 信長 氏

参加のお申し込み お問い合わせ　日本産業洗浄協議会 事務局
TEL. 03(3453)8165　FAX.03(3453)8167　URL http://www.jicc.org

真空展

真空技術でつくる未来

■主催 日本真空工業会／一般社団法人日本真空学会
■共催 日刊工業新聞社

事前登録はこちらから http://www.nikkan.co.jp/eve/vacuum 真空展 検索

出展企業・団体一覧

（記載されている情報は 9/26 現在です。※は共同出展企業・団体）

アイ・シイ・エス
IHI機械システム
※IHI
アイシン精機
赤田工業
アジレント・テクノロジー
アステック
USTRON
アユミ工業
アリオス
アルバック
※アルバック・クライオ
※アルバック機工
※アルバックテクノ
※昭和真空
アンペール
入江工研
インフィコン
VAT
ウェーブフロント
エスティー・ラボ
エドワーズ
荏原製作所
※荏原フィールドテック
大阪真空機器製作所
岡崎製作所
オプトラン
オプトロニクス社
化学工業日報社
カワソーテクセル
キヤノンアネルバ
グローブ・テック
広州市雅斯展覧有限公司
コスモ・テック
コパレントマテリアル
佐藤真空
三愛プラント工業
産業技術総合研究所
計量標準総合センター
圧力真空標準研究室
産業タイムズ社
サンリック
三和真空
ジェー・エー・ウーラム・ジャパン
ジェンテック
芝浦メカトロニクス
※芝浦エレテック
島津製作所
※島津エミット
※島津メクテム
昭和螺旋管製作所
シンクロン
神港精機
シンフォニアテクノロジー
新明和工業
住友重機械工業
大亜真空
大成技研
電子ジャーナル
トヤマ
ナイス
日刊工業新聞社 出版局
日油技研工業
日新技研
日本エリコンライボルト
日本真空工業会
日本電子
日本ピスコ
伯東
日立造船
VISTA
※TELEMARK
VICインターナショナル
福原真空技術
フジ・テクノロジー
フジキン
富士交易
フジ電科
FRIATEC
※RAD DEVICE
ペガサスソフトウェア
ベック
堀技研工業
マック
マツボー
丸紅情報システムズ
メガトール
メトロール
山口大学
ライボルトオプティクス

併催事業

真空入門講座　10/17（水）～19（金）各日10:00～12:00

主催 日本真空工業会／教育委員会　定員 名日90名

会場 10/17 会議棟 7F 703会議室　10/18・19 会議棟 7F 701・702会議室

聴講料 5,000円（1日につき）、（資料代・消費税込）

講義内容
1.真空の歴史 2.真空の基礎 3.真空計測 4.真空ポンプ 5.真空用材料 6.真空部品 7.真空装置の構成

担当講師
10/17（水）日本電子㈱　品質保証室製品順法グループ次長　河合 英治 氏
10/18（木）山口大学　大学院理工学研究科物質工学専攻 准教授　栗巣 普揮 氏
10/19（金）神港精機㈱　滋賀守山工場 工場長付マイスター 品質管理担当　浅見 博 氏

真空トピックス　10/17（水）13:00～16:45（受付12:30～）　120名

主催 （一社）日本真空学会・日本真空工業会　会場 会議棟6F 605会議室

聴講料 スパッタリングおよびプラズマプロセス技術部会会員……無料
（一社）日本真空学会・日本真空工業会会員……3,000円
一　般……5,000円　学　生……1,000円

テーマ 『～スパッタ・プラズマを利用した先端技術とその基礎～』

講義内容・講師

13:05～13:45 固体薄膜二次電池の高機能化（仮）
岩手県立産業技術短期大学校　馬場 守 氏

13:45～14:25 薄膜のクロミック現象を用いた調光ミラーガラスの開発
（独）産業技術総合研究所　吉村 和記 氏

14:25～15:05 半導体/金属錯体ハイブリッド光触媒による人工光合成 – 太陽光、水、二酸化炭素から有機物の直接合成 –
㈱豊田中央研究所　荒井 健男 氏

15:20～16:00 次世代不揮発性メモリMRAMの量産技術の現状と課題
キヤノンアネルバ㈱　恒川 孝二 氏

16:00～16:40 新型不揮発性メモリ量産技術の現状
㈱アルバック　西岡 浩 氏

内容についての問合せ先
一般社団法人 日本真空学会 事務局
TEL:03-3431-4395　FAX:03-3433-5371　E-mail: ofc-vsj@vacuum-jp.org

第13回 真空シンポジウム　10/18（木）11:00～16:15（受付10:30～）　120名

主催 （一社）日本真空学会・日本真空工業会　会場 会議棟6F 606会議室

聴講料 （一社）日本真空学会・日本真空工業会会員：3,000円
一般：5,000円、学生：1,000円（資料代・消費税込）

テーマ 『日本のモノづくりを支える最新の表面分析技術』

講義内容・講師

11:15～11:45 表面分析技術と化学産業
大阪大学　特任教授（元㈱東レリサーチセンター副社長）　石田 英之 氏

11:45～12:30 表面分析技術と半導体技術：性能・信頼性向上への寄与
㈱富士通研究所基盤技術研究所　シニアディレクター　中村 友二 氏

14:10～15:10 日本から発信する新しい表面分析技術
京都大学大学院　工学研究科　准教授　松尾 二郎 氏

15:10～16:10 モノづくりを支える表面分析技術：表面分析の現状とその課題
（独）物質・材料研究機構　中核機能部門　部門長　田沼 繁夫 氏

真空フォーラム2012　10/19（金）14:00～17:00　200名

主催 日本真空工業会 技術委員会／フォーラム・セミナー小委員会　会場 会議棟6F 605・606会議室

聴講料 会員（日本真空工業会・（一社）日本真空学会）：5,000円、
一般：7,000円、学生：1,000円（資料代・消費税込）

テーマ 『次世代自動車とスマートコミュニティ』

基調講演・講師
次世代自動車の技術と普及に関わる将来展望
早稲田大学　教授　大聖 泰弘 氏

一般講演・講師
EV技術の現状と将来展望
早稲田大学　環境総合研究センター　客員教授　廣田 寿男 氏
燃料電池自動車の普及への取り組み
一般財団法人 日本自動車研究所　赤井 泉明 氏
サスティナブルモビリティとスマートコミュニティ
トヨタ自動車㈱　技術統括部　岡島 博司 氏

4展同時開催記念講演

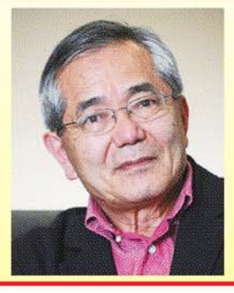
参加無料 事前登録制

テーマ 「21世紀の課題を化学の視点から語る ～環境・食糧・エネルギー～」

液晶、有機ELディスプレイ、医薬品、農業、プラスチックなど様々な分野で現在不可欠な技術になっているクロスカップリングの研究でノーベル賞を受賞した根岸氏が、現在の日本が抱える諸問題について、化学の視点から解決策をお話します。

日時 2012年10月18日（木）13:00～14:00　会場 東京ビッグサイト 会議棟1F レセプションホールA　定員 500名　聴講料 無料

講師
パデュー大学 特別教授
帝人グループ 名誉フェロー
（2010年 ノーベル化学賞 受賞）
根岸 英一 氏



プロフィール
1958年
東京大学工学部応用化学科卒業。同年帝人へ入社。
1960年
帝人を休職してフルブライト奨学生としてペンシルベニア大学大学院に留学。1963年同大学大学院博士課程修了。Ph.D.理学博士
1966年
帝人を退職。パデュー大学ポストドクトラル研究員（H.C.ブラウン教授）。1968年パデュー大学助手。
1972年
シラキュース大学助教授、1976年 同大学准教授を経て、1979年パデュー大学へ移籍し教授に就任。
1999年
同大学化学科H.C.ブラウン特別教授、現在に至る。

2012 土壌・地下水環境展

きれいな大地を未来へ

■主催 （社）土壌環境センター／日刊工業新聞社

事前登録はこちらから http://www.nikkan.co.jp/eve/dojyo 土壌・地下水環境展 検索

出展企業・団体一覧

（記載されている情報は 9/26 現在です。※は共同出展企業・団体）

ADEKA総合設備
インフォマティクス
大林組
奥村組
鹿島建設
※ケミカルグラウト
※鹿島道路
※大興物産
※イー・アール・エス
※鹿島環境エンジニアリング
環境新聞
在日アメリカ合衆国大使館 商務部
再生舎
サンエープロテント
産業と環境
サンメック
シーリングソイル協会
JFEミネラル
重松製作所
柴田科学
地盤環境エンジニアリング
清水建設
スーパー工業
住化分析センター
※エンバイロ・ソリューション
センシズ
大成建設
田邊空気機械製作所
DOWAエコシステム
※ジオテクノス
※イー・アンド・イー ソリューションズ
東邦電探
土壌環境センター
富山高等専門学校
豊橋技術科学大学
西松建設
日科機バイオス
日本工業出版
日本地下水開発
日本電子
農研機構　生研センター
※井関農機
※久保田
※ササキコーポレーション
※三菱農機
※ヤンマー
ハザマ
光産業
※湘南分析センター
フィールドテック
マックテクニカルシステムズ
三井金属資源開発
宮野精密工業
US Remediation Partners
※Terra Systems, Inc.,
※MECx, LP
※FMC Corporation
※Instrumentation Northwest
※Pacific Rim Services
メッセミュヘン
ランドコンシェルジュ
ロハスサポート

併催企画 除染対策総合ゾーン

汚染土壌・廃棄物等の除染、処理・処分技術を一堂に集めて展示し、最新の情報を広く社会へ発信します。

併催特別企画

除染・浄化 復興シンポジウム　10/17（水）13:00～14:30

主催 土壌環境センター、日刊工業新聞社　会場 東3ホール内 ワークショップ会場B　定員 250名 参加無料（事前登録制）

プログラム（予定） 除染に係る環境省の取り組み／被災地におけるゼネコン各社の取り組み／復興における今後の取り組み
（復興へのビジョンを語ります）

東日本大震災からの復興に向けて取り組みが本格化し、特に福島県では放射能の除染作業とそれに伴う取り組みが官民一体となって進められています。
本シンポジウムでは、被災地における取り組みと復興に向けたビジョンを語り合う場として開催いたします。

パネラー

環境省
水・大気環境局
放射性物質汚染対策参事官
牧谷 邦昭 氏（予定）

㈱大林組
除染プロジェクト
部長
納多 勝 氏

鹿島建設㈱
環境本部
本部次長
押野 嘉雄 氏

清水建設㈱
土木東京支店
東北震災復興 土木建設所長
磯谷 隆弘 氏

大成建設㈱
環境本部
土壌・環境事業部
部長
佐藤 和郎 氏

コーディネーター
東京農工大学
工学部　化学システム工学科　教授
細見 正明 氏

Japan Robot Week 2012

第5回 ロボット大賞　NEDO 国際ロボットフォーラム　ロボットイノベーション 2012　つくば国際戦略総合特区フォーラム

事前登録はこちらから http://www.nikkan.co.jp/eve/s-robot

出展企業・団体一覧

（記載されている情報は 9/26 現在です。※は共同出展企業・団体）

Japan Robot Week 2012
新エネルギー・産業技術総合開発機構
第5回ロボット大賞 合同展示
（受賞ロボット等 約10件展示）
つくば国際戦略総合特区／茨城県
つくばモビリティロボット実験特区／つくば市
生活支援ロボット安全検証センター／JARI
産業技術総合研究所

ロボットイノベーション 2012
アイ・ディー・エクス
アサンテ
イクシスリサーチ
エクストコム
※九州大学
ナノ・マイクロ医工学研究室
※東京大学
実装工学分野研究室
大谷技研
小川優機製作所
※スギテック
神奈川大学
かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会
佐竹製作所
ジェイ・エム・シー
杉浦機械設計事務所
ゼオシステム
大和ハウス工業
千葉工業大学 工学部
未来ロボティクス学科
中嶋研究室
ナガタ工業
ニイガタ
日本バイナリー
双葉電子工業
マイクロインフィニティ 東京支社
明治大学
UR都市機構
早稲田大学

ロボットイノベーション 2012
ロボットビジネス推進協議会 合同展示
青梅商工会議所
オプテックス
大和ハウス工業
ダブル技研
日本信号
ハイボット
羽根田商会
ブイ・アール・テクノセンター
北陽電機
マイクロストーン
ミライアル

Japan Robot Week 2012 プログラム　10/17（水）10:30～17:20　10/18（木）10:30～12:25　会場 東3ホール メインステージ

Japan Robot Week 2012 オープニングセレモニー

10/17（水）10:30～10:45　定員 300名　参加無料

各イベント・フォーラムの主催関係者が一堂に集まり、Japan Robot Week 2012のオープニングセレモニーを行います。

第5回 ロボット大賞 表彰式

10/17（水）10:45～11:45　主催 経済産業省、（一社）日本機械工業連合会

我が国の優れたロボットやシステム、部品・ソフトウェアなどを表彰します。当日は厳正な審査で選ばれた、10件程の受賞ロボット・システム等が発表されます。

この事業は、競輪の補助を受けて実施しています。

NEDO国際ロボットフォーラム ～ロボットが築くスマートな社会～

主催 （独）新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

10/17（金）13:30～17:20　テーマ 『世界のビジネスと今後の方向』　定員 500名 参加無料 日英同時通訳

講演内容

13:30～14:00 ロボットがあふれる未来 ～ヒューマノイドからロボットカーまで～
Google　テクニカルリードマネージャー　James Kuffner 氏

14:05～14:35 欧州のロボット政策、技術動向について（仮）
CNRS（仏国立科学研究センター）　科学ディレクター　Raja Chatila 氏

14:40～15:10 NEDOが描くロボットの未来像と今後の展開
NEDO　技術開発推進部　技術開発企画課　課長代理　真野 敦史 氏

15:30～16:00 超高齢化社会を元気にする生活支援サービスロボット事業
パナソニック㈱ ロボット事業推進センター 所長　本田 幸夫 氏

16:05～16:35 急成長しているロボットソフトウェア
東京大学　大学院情報理工学系研究科　教授　稲葉 雅幸 氏

16:40～17:20 パネルディスカッション 「ロボットが築くスマートな社会」
有識者によるパネルディスカッション。ロボットが担う社会と、これからの方向性について討論します。
コーディネータ
東京大学 大学院 情報理工学系研究科 教授　佐藤 知正 氏

10/18（木）10:30～12:25　テーマ 『災害ロボット開発の最前線』

講演内容

10:30～11:05 災害対応無人化システム研究開発プロジェクト 中間報告
NEDO　技術開発推進部　技術開発企画課　課長代理　川島 正 氏

11:10～11:45 災害対応ロボットの開発と課題
千葉工業大学　未来ロボット技術研究センター 副所長
㈱移動ロボット研究所　代表取締役社長　小柳 栄次 氏

11:50～12:25 ロボットスーツ HALの新たな社会的活用法：災害対策用HAL
CYBERDYNE㈱　代表取締役社長・CEO
筑波大学　大学院　教授　山海 嘉之 氏

「第5回ロボット大賞」特別ステージ　10/18（木）13:30～16:30

主催 経済産業省、（一社）日本機械工業連合会　会場 東3ホール メインステージ　定員 500名 参加無料

受賞ロボット担当者によるプレゼンテーション　「ロボット大賞（経済産業大臣賞）」や各部門の受賞ロボット担当者によるプレゼンテーションを行います。開発までの取り組みや各ロボットの技術的特長を聞くことが出来ます。

つくば国際戦略総合特区フォーラム ～つくばロボットバレーを目指して～　10/19（金）13:00～15:30

主催 茨城県、つくば市　会場 東3ホール メインステージ　定員 500名 参加無料

つくば国際戦略総合特区の取り組みを紹介し、ロボットメーカー、サービスプロバイダ、投資家等の将来のパートナー発掘を行うことを目的としています。

挨　拶　つくば市長　市原 健一 氏

基調講演　13:00～13:40
つくば国際戦略総合特区の取組
～ライフイノベーション・グリーンイノベーションの推進～
茨城県　副知事　榊 真一 氏

総合特区におけるロボット実証事業　13:50～14:30
① グリーンイノベーションを目指した搭乗型ロボット実証事業
つくば市科学技術振興監（兼）国際戦略総合特区推進室　梅原 弘史 氏
② ライフイノベーションを目指した医療福祉ロボット実証事業
（独）産業技術総合研究所 知能システム研究部門長　比留川 博久 氏

総合特区におけるイノベーション基盤事業　14:30～15:30
① NEDO生活支援ロボット実用化プロジェクトの概要
NEDO　技術開発推進部　機械システムグループ（ロボット推進担当）主査　真本 敦史 氏
② 生活支援ロボット安全検証センター
（一財）日本自動車研究所　ロボットプロジェクト推進室　主管　小口 誠 氏
③ 「ロボットと共存するために～リスクアセスメントと安全設計技術など～」
（独）産業技術総合研究所　知能システム研究部門　副部門長　大場 光太郎 氏

ロボットイノベーション2012 併催プログラム 「ロボティック・ドラマ」映像版（英字幕付き）の上映＆ロボティック・ライフスタイル®ティーチイン

10/17（水）15:00～、10/18（木）16:15～、10/19（金）12:00～、14:00～、15:30～　主催 かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会　当日会場受付 参加無料

会場 東3ホール入口 ワークショップ会場C　製作 ㈱ロボットメディア　定員 100名

ある家族とロボットとの20年にわたる物語「ロボティック・ドラマ 第1幕 Sex Bargain Robot」の映像版を上映します。上映後は、㈱ロボットメディア 代表取締役 小林賢一氏によるロボットと暮らす上質で新しい生活＝ロボティック・ライフスタイル®についてのティーチインも行います。

併催事業の詳細・お申込みは各展示会の公式HPからお願いいたします。皆様のご来場をお待ちしております！

お問い合わせ
「2012洗浄総合展」「2012土壌・地下水環境展」「VACUUM2012-真空展」「Japan Robot Week2012／ロボットイノベーション2012」事務局
日刊工業新聞社 業務局イベント事業部　〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町 14-1　TEL：03-5644-7221　FAX：03-5641-8321　E-mail：j-event@media.nikkan.co.jp